

平成 24 年 2 月 9 日

2 月定例所長会見における横村所長挨拶内容

- 皆さん、おはようございます。所長の横村でございます。
- 昨年、福島第一原子力発電所で事故が発生し、福島県の皆さま、新潟県の皆さま、そして広く社会の皆さまに、引き続きご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、あらためて心よりお詫び申し上げます。
- まずは、当発電所の状況についてです。

昨晚、佐渡付近におきまして震度 5 強の地震が発生いたしました。発電所においては、7 号機で最大加速度水平方向 7.3 ガルを計測いたしましたが、プラントにおいては警報の発生などはなく、運転中の 6 号機については安定運転を継続しております。

6 号機については、次回の定期検査を 3 月 26 日より開始することとし、現在、工程や津波対策工事を含めた作業内容の詳細検討を進めているところです。

5 号機につきましては、先月 25 日より定期検査に入っており、津波対策工事をはじめ計画している工事について、安全を最優先に一つひとつの作業を着実に進めております。

ストレステストにつきましては、1, 7 号機を対象とした一次評価について、先月 16 日に原子安全・保安院へ報告書を提出しましたが、その後、多くの誤記などが分かり、原子力安全・保安院より原因究明と再発防止対策を含め品質保証体制を再構築した上で、報告書を再提出するよう指示を受けました。この指示を真摯に受け止め、速やかに対応してまいります。

また、現在、1, 7 号機については二次評価を進めておりますが、定期検査に入った 5 号機についても今月初旬からストレステストの評価を進めております。

○ 次に津波対策の状況についてです。

防潮堤については、現在、1～4号機側において今月初旬より基礎杭の打設工事を開始いたしました。5～7号機側では、セメント改良土による盛り土の築堤作業を順次進めているところです。また、防潮壁については、1号機に引き続き、3、4号機の設置工事にも着手しております。

貯水池については、設置予定地周辺の整備工事を継続して行っており、平行して今月上旬より本体工事に着手いたしました。

こうした工事の状況については、来週にも現場の公開をさせていただきたいと考えており、報道関係の皆さまにも是非ご覧いただきたいと存じます。

○ 次に発電所の周辺市町村との通報連絡に関する協定の締結についてです。

このたび、新潟県内の28自治体と通報連絡協定を締結し、本日2月9日より施行することとなりました。

通報連絡協定の締結にあたっては、これまでに発電所の周辺市町村による原子力安全対策に関する研究会や通報連絡に関する勉強会が開催され、私どもからもこれまでの通報連絡の実績や通報連絡の内容などについてご説明をさせていただき、協定締結に向けた協議を進めてきたところです。

今後は、この通報連絡協定にもとづき、原子力災害対策特別措置法の10条通報ならびに15条通報に該当する事象や、安全協定に該当するトラブル事象、当社の公表基準に係わる事象について、各自治体へ通報連絡をしてまいります。

○ 最後に「地域の皆さまへの説明会」についてです。

すでにご案内のとおり、今月20日に刈羽村にて、21日には柏崎市にて地域の皆さまへの説明会を開催いたします。

今回の説明会においては、福島第一原子力発電所の事故に対する対応状況や、当所の津波対策への取り組み状況、1号機、7号機のストレステストの評価内容などについてご説明させていただきたいと思っております。地域の皆さまからのご質問やご意見についても、できる限り分かり易くお答えしてまいりたいと考えております。

○ 本日、私からは以上です。

以 上

添付) 柏崎刈羽原子力発電所DATA BOX
プレス公表 (運転保守状況)

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成24年2月)

平成24年2月9日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況														補足説明
			3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2			
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	第16回定期検査中 定検停止期間:H23.8.6~	第15回 H19.5.4~H22.8.4 停止期間 H19.5.4 ~ H22.6.6 (1130日) (原子炉起動H22.5.31)	第16回定検による停止!														【6号機】 ・平成24年3月26日から第10回定期検査開始予定
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H19.2.19~	第11回 H17.9.3~H18.5.9 停止期間 H17.9.3 ~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定検による停止!														
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H19.9.19~	第9回 H18.5.12~H18.9.15 停止期間 H18.5.12 ~ H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第10回定検による停止!														
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H20.2.11~	第9回 H18.4.9~H19.1.11 停止期間 H18.4.9 ~ H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	第10回定検による停止!														
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第13回定期検査中 定検停止期間:H24.1.25~	第12回 H18.11.24~H23.2.18 停止期間 H18.11.24 ~ H22.11.25 (1463日) (原子炉起動H22.11.18)	第13回定検による停止!														
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	運転中	第9回 H22.10.31~H23.3.9 停止期間 H22.10.31 ~ H23.1.26 (88日) (原子炉起動H23.1.23)															
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H23.8.23~	第9回 H22.4.18~H22.7.23 停止期間 H22.4.18 ~ H22.6.28 (72日) (原子炉起動H22.6.26)	第10回定検による停止!														

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (1月末現在)

1月	27.2%
23年度累計	43.5%
運転開始後累計	63.7%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (1月末現在)

1月	166,107
23年度累計	2,626,153
運転開始後累計	87,306,847

④ ドラム缶発生量(本) (H23年度第3四半期)

当期発生本数	740
貯蔵庫累積貯蔵本数	32,981
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (H23年度第3四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	13,532
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 構内従業員データ(人) (2月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	937	2,718	53%
	刈羽村	94	248	5%
	その他	114	1,174	19%
	小計	1,145	4,140	77%
県外		88	1,533	23%
合計		1,233	5,673	-
		6,906		100%
協力企業社数(社)		844		

※「比率」について端数処理の関係で数値と計が含まない場合がある。

⑦ 来客情報(人) (1月末現在)

	1月	年度累計
地元	641	10,290
県内	361	12,761
県外	252	12,010
国外	14	215
合計	1,268	35,276

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
平成24年2月20日	地域の皆さまへの説明会(刈羽村)
平成24年2月21日	地域の皆さまへの説明会(柏崎市)
平成24年3月8日	次回定例所長会見予定

インターネットホームページアドレス
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）
～中越沖地震関連を除く～

平成24年2月9日
定例所長会見資料

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	12月2日	2号機	高圧炉心スプレィ系ディーゼル発電機の定例試験中における停止について（区分その他）	<p>（事象の発生状況） 定期検査中の2号機において、高圧炉心スプレィ系ディーゼル発電機の定例試験を実施したところ、平成23年12月1日午後3時頃、当該発電機が定格運転状態から出力が低下し、自動停止しました。その後の目視点検において冷却水や燃料、潤滑油などの漏えいは確認されず、外観上の異常は認められませんでした。</p> <p>（安全性、外部への影響） 現在、2号機は定期検査中で原子炉は停止しており、保安規定上要求される非常用発電設備2台が確保されていることから、プラントの安全性に問題はありません。</p> <p>（対応状況） 原因調査のため現場においてディーゼル機関及び発電機各部の点検や動作確認等を実施するとともに、工場においてガバナ*の動作試験・分解点検を実施した結果、異常は認められませんでした。しかし、今回の事象は定格運転状態から発電機出力が低下し自動停止したものであることから、原因はガバナに一過性の動作不良が発生し、ディーゼル機関に燃料が供給されなくなったことにより発生したものと推定しました。このためガバナについては予備品と交換し運転に異常がないことを確認しました。 なお、当該機については、定例試験において運転状況を確認してまいります。 *ガバナ：ディーゼル機関への燃料供給量を調節し、ディーゼル機関の出力を調整する装置</p>
②	1月20日	5号機	定例の動作確認試験における制御棒1本の動作不良について（区分Ⅲ）	<p>（事象の発生状況） 平成24年1月19日午後10時37分頃、運転中の5号機において、週に1回の頻度で行う定例の制御棒の動作確認試験として、制御棒（14-27）を全引き抜き位置から1ノッチ（約15cm）挿入操作を行ったところ、制御棒の挿入状態が継続し、11ノッチ（約168cm）挿入されました。このため、動作確認試験を中止し、当該制御棒に関する機能確認を行った結果、スクラム機能等に異常が無いことを確認しました。 今後、念のため当該制御棒を全挿入位置まで挿入し、制御棒が引き抜き動作しないように安全処置を実施いたします。 なお、本事象発生時には、5号機の発電機出力に変動はありませんでしたが、当該制御棒を全挿入位置まで挿入することに伴い、発電機出力が3万kW程度低下し、103万kW程度の出力で安定運転を継続する予定です</p> <p>（安全性、外部への影響） 当該制御棒については、スクラム機能が確保されており、プラントの安全上の問題ははありません。 本事象による、外部への放射能の影響はありません。</p> <p>（対応状況） 制御棒が動作不良となった原因について、引き続き、調査を行ってまいります。</p>
③	1月25日	1号機	海側屋外におけるけが人の発生について（区分Ⅲ）	—

プレス公表（運転保守状況）
～中越沖地震関連を除く～

平成24年2月9日
定例所長会見資料

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
④	2月2日	5号機	タービン建屋（管理区域）における油漏れについて（区分Ⅲ）	<p>（事象の発生状況） 平成24年2月1日午前11時33分頃、5号機タービン建屋1階（管理区域）において、パトロール中の当直員が発電機下部エリアの床面に油溜まりを発見しました。 現場を確認したところ、タービン建屋2階（管理区域）の発電機軸振動検出器*の取付け部に油のにじみ跡があることを確認しましたが、滴下はなく油のにじみは停止しております。 床面に溜まった油は約20ミリリットルで、拭き取りによる清掃を実施いたしました。 その後の確認において、平成24年1月30日に発電機軸振動検出器点検作業を実施しており、発電機軸振動検出器の配管接続部（フランジ）から作業エリア内に油が約200ミリリットル滴下したため拭き取り清掃を実施していたことを確認いたしました。 このことから今回の油溜まりについては、その際の拭き取りが不十分だったためにその後、滴下したものと推定しました。</p> <p>（安全性、外部への影響） 漏えいした油には放射性物質は含まれておらず、本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>（対応状況） 今回の漏えいを踏まえて詳細な原因調査や再発防止対策を検討してまいります。</p>